

こころ医療福祉専門学校佐世保校
令和元年度学校関係者評価委員会議事録

【日 時】令和元年8月25日（日）10：55～11：35

【会 場】こころ医療福祉専門学校佐世保校 2階 会議室

【委 員】出席：田中秀樹（長崎県柔道整復師会佐世保支部）

井手浩二（いで整骨院）

上田陽介（純心整骨院）

廣瀬典治、永田俊晴、鴨田亮平

（敬称略）

1 開会の辞（司会 永田俊晴）

本会の開会目的及び配布資料の説明を行う。

2 学校自己評価の説明と評価（校長 廣瀬典治）

平成30年度学校自己評価結果報告書について、これは今年の4月の初めに県の学事振興課へ提出した資料である。評価項目が多岐に渡るため、抜粋して説明する。

1 ページ学校の教育目標、岩永学園のビジョン「地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織になる」を掲げている。このビジョンのもと、教育事業、福祉事業、人材紹介事業、技能実習事業の4事業行っている。多様な取り組みの中で包括的に支援できる組織を目標としている。このビジョンを実現するためのテーマを2つ、基本方針を3つ掲げている。

テーマ1つ目は地域社会から必要とされる組織であり続ける。2つ目は地域社会から必要とされる人材を輩出する。基本方針1つ目は岩永学園グループの一員として、信頼あるプライドの持てる学校を確立する。2つ目は社会に貢献できる、医療人としての専門性と豊かな人間力を育成する。3つ目は日本社会に適応できるための日本語能力の向上と日本文化理解の指導に努める。

3つ目の基本方針は日本語科に関しては、医療・福祉に関係がない印象を持たれるかもしれないが、留学生が介護福祉士の国家資格を取得することにより、介護ビザを取得することができる。そのため、介護に興味・関心のある、本学留学生に介護福祉科への進学を勧めている。

1 ページ2番の本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画。まず国家試験合格率100%、就職率100%。日本語科については日本語能力の向上、JLPTの合格率向上。今年度の目標は30%の学生にN3取得、20%の学生にN2を取得

させることである。

1 ページ2番(3) 4事業連携の深化と企業の開拓と良好な関係性の構築について、別紙資料にて4事業について簡単に説明をさせてもらっている。①教育事業として4つの学校があり、4つ目の **Kokoro College Japan** というのは島原にある日本語科を設置した学校である。②社会福祉事業として2つの老人ホーム（特別養護老人ホーム壱岐のこころ、介護付き有料老人ホームこころのしろ）を持っている。③人材紹介事業の株式会社 **Kokoro Human Stage** というのは、医療関係の民間の人材紹介事業を行っており、まだ2年目であるが軌道に乗ってきている。④外国人技能実習事業に関しては、まだまだこれからという段階である。この4つの事業で本学園のビジョンである地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織を目指している。

3番の評価項目の達成及び取組状況(1) 教育理念・目標について、教育理念については本校では4つの教育目標を掲げている。①何のためにを追求、②社会が求める人材の育成、③人格の形成、④社会に貢献である。

それでは各項目を抜粋して説明する。(1) 3つ目、社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているかについては、本学園が経営する4事業間の連携を通して、将来を見通した社会や関連業界のニーズに応じるための学校経営を計画している。

(2) 学校運営2つ目、運営方針に沿った事業計画が策定されているかについては、各職員が前後期ごとにPDCAサイクルを実施し、業務を行う上で確認しながら行い学力向上等に臨んでいる。(3) 教育活動3つ目、学科等のカリキュラムは体系的に編成されているかについては、本委員会（教育課程編成委員会等）でのアドバイスをいただきながら、体系的に実施している。(3) 5つ目、関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているかについて、今年度より臨床実習が必須となったため、佐世保校として10施設に協力していただいている。

(3) 関連分野における先端的な知識・技術等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているかについて、本委員会（教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会等）を通じて、現場と教員との意識や知識の共有を図っている。また、教職員が授業を互観し、気づきを指摘し合い、指導力向上に努めている。

(4) 学習評価について、1, 2, 3の項目についてまとめて説明させていただく。別紙資料にて合格率、退学数、退学率、就職率を載せている。柔道整復科の合格率は平成28年度から平成30年度まで記載しているが、合格率としては上がってきている。年々全国平均も上がってきている。退学数については平成28年度より7名ずつとなっている。退学率が上がってきているが、定員が減っているため率が上がっている。就職率について、留年生を除いた数字である。卒業生の就職先の92%が整骨院・鍼灸院となっている。

(5) 学生支援について2つ目の学生相談に関する体制は整備されているかについて、平成29年度結果報告書では評価2であったが、平成30年6月より本校に心理カウンセラーを設置しており、毎週火曜日に来ていただいているため、評価を4としている。

(5) 3つ目、学生に対する経済的な支援体制は整備されているかについて、別紙資料にて募集要項の抜粋にて各種減免制度の説明を載せている。

(6) 教育環境について、2つ目のインターンシップについては先ほど説明した臨床実習を行っている。海外研修については健康鍼灸科が実施していた上海中医薬大学への実習は中止したが、福岡医科大学で解剖研修を実施している。

(7) 学生の受入れ募集について、専門学校や大学の入学試験については、毎年10月以降と長崎県で決められている。募集については厳しい状況であるが、いろんな形で努力をしている。今年度は松浦鉄道での広告、こころ新聞を2か月に1回出している。社会人への取り組みが難しいが、接触があった場合には担当職員より手書きのがきを出すようにしている。

(8) 財務に関しては、教育事業に関しては少子化の影響で好調とは言えない状況であるが、福祉事業と日本語教育に関しては時代の流れもあり、好調とっていい状況である。人材紹介や技能実習事業に関しては今からという状況である。事業所内での経費節減に努めている。

(9) 法令等の順守について4つ目の自己評価結果を公表しているかについて、学校HPや学事振興課への提出等を法令に従って情報公開を行っている。(9) 2つ目の個人情報については、学校として特に気を使っている。今後も強化をおこなっていく。

(10) 社会貢献・地域貢献について1つ目、学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているかについては、介護福祉に関する職業訓練事業の実施、自治会行事、ボランティア活動への積極的な参加等を通して社会貢献、地域貢献を行っている。

(11) 国際交流1つ目、留学生受け入れについて戦略を持って行っているかについて、担当者が現地に赴き、質の高い留学生の獲得に努めているが、入国管理局の審査が厳しくなっており、申請数の30%通れば良い方となっている。

最後のページ、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果についてまとめている。(記載内容の読み上げ)

最後に平成30年度学校自己評価結果に係る評価書の記入をお願いする。

3 意見交換

田中) 心理カウンセラーの受診率はどれくらいか。

廣瀬) 受診率を数字として出していないが、基本的に担任を通してではなく直接相談をするような形となっている。

永田) 定期的にストレスチェック等を学生にしてもらい、その結果は廣瀬校長と私に報告がある。ただ個人情報となるため、深いところまでは把握していない。受診率と言うより、学生へ何かしらのアクションをしてもらっている。

井手) 学校として留学生を受入れているが、介護福祉士になった留学生はいるか。

廣瀬) 介護福祉士を目指して介護施設で働いている学生はいるが、まだ介護福祉士になった学生はいない。

田中) 留学生の授業料はどの程度か。

廣瀬) 60万程度の授業料がかかるため、アルバイトや仕送りで賄っている。

井手) 母国からの資金援助は無いのか。

廣瀬) ない。

井手) 学生アンケートの内容は以前から変わっていないか。

永田) 佐世保校は変わっていない。

廣瀬) アンケートは学生の授業評価アンケートとは別に学校評価アンケート（教職員、学生）があり、今回の結果報告書は教職員と学生が実施する学校評価アンケートを反映している。

4 閉会の辞（司会 永田俊晴）

以上で本委員会を終了する。